

① 学習指導案

プログラム	No. 1 1 「景観プランナーになろう」
単元名 (全 40 時間)	それいけ！由比北観光 PR リーダーマン (探究課題：地域の特色を生かした地域活性化のための取組)
学習のねらい	<p>マップづくりのために目的に応じた調査やインタビューを行うことで、由比入山地区には魅力と課題があることを知り、地域活性化のための地域の活動や取組について理解しようとする事ができる。</p> <p>地域の人・もの・ことと出会うことで由比入山地区の魅力を発見し、マップを見る人の視点を考慮して情報を整理・分析・精選しながら地域の魅力が詰まったお散歩マップを作成することができる。</p> <p>自分たちの住んでいる地域の良さを再認識し、多くの人に由比入山の魅力を知ってもらうためにできることを考え、よりよい地域にしようと進んで取り組むことができる。</p>
学習内容	<p>1 地域の方から話をうかがい、地域の方が小学校や地域のために行っている活動を知り、自分たちは地域のためにどんなことができるのか考える。(課題設定)</p> <p>2 こども園の園長先生からの依頼から園児さんのためのお散歩マップを作るために、学区探検を行い地域の魅力を探したり、園の先生にインタビューをしたり園児さんと遊んだりすることで「園児さんのためのお散歩マップ」に必要な情報を集める。(情報収集)</p> <p>3 こども園のマップ作成に必要な情報、地域を訪れる人のためのマップに必要な情報をそれぞれ整理、分析、精選しながら、他者の視点にたったマップづくりを行う。(整理分析)</p> <p>4 地域の魅力が詰まった「由比入山お散歩マップ」をパンフレットの形にし、地域の方に配ったり、駅や観光スポットに置いてもらったりすることで情報を発信していく。(まとめ)</p>
参考資料	各観光地で作っているマップ
準備品	株式会社天神屋経営企画室広報部部長北川様
実施場所等	Chromebook 由比北小学校学区内および静岡市清水区内

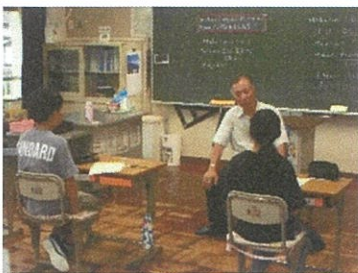




学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	1. 地域の方からお話をうかがい、地域の方の思いと期待を知る。 ↓ ①こども園の先生からの「園児のための散歩コース」を作してほしいという話から、散歩コースを作ってプレゼンする計画を立てる。 (課題設定)	・PTA 会長や連合自治会長、こども園園長の話から、地域の方は小学生のために様々な活動をしてくださっていることを知り、自分たちは地域のためにどんなことができるのか考える。	・由比入山の魅力や課題を知る中で、地域の方の地域活性化のための取組について理解しようとしている。 【知識・技能】
8	2. 情報収集を行う。 ①園の先生や、園児の実態を知る。 ②地域の景観や魅力を調べ。 ③今、自分たちが持っている情報だけでは園児さんたちの散歩コースが作れないことに気が付き、再度園の先生にインタビューを行ったり、園児さんと散歩に行ったりしてみる。	・園の先生たちが普段の散歩で気を付けていることを聞いたり、園児さんの歩く速さや興味があることを知ったりすることで、どんなコースを作ったらいいのか他者の視点をもてるようにする。 ・「園児さんの散歩コース」という視点に立って地域の景観や魅力を調べられるようにする。 ・園長先生に「園の散歩コースのめあて」を聞くことで「秋の散歩コース」を作るための見通しをもてるようにする。	・自分たちの作るお散歩コースを作るために必要な情報を集めようとしている。 【知識・技能】 ・園児さんのためにどのような散歩コースを作るか見通しをもつことができる。 【思考・判断・表現】 ・園の散歩の狙いに合った情報を整理・分析し精選している。 【思考・判断・表現】
5	3. 集めた情報をもとに散歩コースを作る。 (情報の整理・分析・精選)		・園児の実態を意識しながら、散歩コースを作ったり掲載する情報を分かりやすく表現したりしている。 【思考・判断・表現】
5	4. 園の先生にプレゼンをして修正点を知り、再度散歩コースを作り直す。 (まとめ・表現) ①園の先生にプレゼンをしてアドバイスをいただく。 ②散歩コースを作り直す。 ③園児さんに完成したマップをプレゼントする。	・園の先生にプレゼンをすることで、他者評価をしてもらい修正点を見つけれられるようにする。 ・アドバイスをいただいた点を明確にして、それをもとに散歩コースを修正できるようにする。	・地域の方の思いや、自分たちが感じた地域の魅力を形にして発信するために、主体的にマップづくりや広報活動に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
1	5. 地域のことをもっと多くの人に知ってもらうために観光マップを作る。 (課題設定)	・今まで調べたり、地域の課題を知ったりした中で、自分たちが住む自慢の由比入山にもっと人が来てほしいという思いをもてるようにする。	・自分たちで決めた方法で情報収集を行い、適切な整理の方法を選択している。【知識・理解】


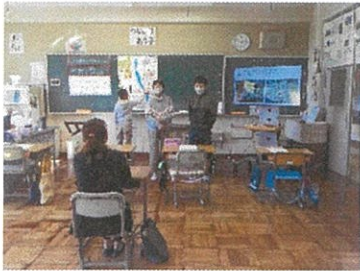



5	6. 地域の観光地や名所などをさらに調べる。情報をICTでまとめる (情報収集)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用して情報の蓄積を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰のためにパンフレットを作るのか意識して作成している。</li> </ul> 【知識・理解】
10	7. 観光マップのパンフレットを作る。 (整理・分析) ①天神屋北川様にゲストティーチャーとして来ていただき、アドバイスをいただく。 ②割り付けを考え、業者に発注をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの地域には自慢できることがたくさんあることをパンフレットにして発信していく。</li> <li>誰のためのマップなのかという他者視点を意識してパンフレットづくりを行えるようにする。</li> <li>国語科の授業で学んだパンフレットづくりの視点を生かせるようにする。</li> <li>プロの視点はどんなことに気を付けているのかを学び、自分たちのパンフレットに生かしていく。</li> <li>試作品を作り、見やすさ、色合い、ずれがないかなど再チェックすることで、学校外に配布する意識をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や色のバランスを考えてパンフレットを作ったり、アドバイスを生かしてよりよいパンフレットを作ったりしようとしている。</li> </ul> 【思考・判断・表現】
5	8. 作ったパンフレットを下級生に説明したり、地域の方に配ったり、観光施設や駅に置いてもらったりすることで多くの人に「由比入山の魅力」を発信する。 (まとめ・表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅や観光施設などパンフレットを置く場所を決め、自分たちで電話をかけてアポイントメントを取る経験をする。</li> <li>交通機関を使って、各施設に置きに行くことでより多くの人に観光マップを見てもらえることで、達成感を感じられるようにする。</li> <li>スライドを作り、下級生にパンフレットの紹介をすることで、全校に由比入山の魅力を発信できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改めて自分たちの住んでいる地域は素晴らしいところだと気が付き、自信をもって魅力を発信しようとしている。</li> </ul> 【主体的に学習に取り組む態度】

〈留意点〉

・地域の人やもと、こととできるだけ関わりをもち、地域のよさを改めて実感することで、地域社会の一員として地域のよさをアピールし、よりよいまちづくりをしようという思いにつながるよう指導する。

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
1	教室	<p>地域の方（連合自治会長）話を聞き地域の思いを知った。</p> <p>こども園の園長先生から「こども園のためのお散歩コースを作ってほしい」という依頼があった。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が自分たちのために様々な活動を行っていることを知った。</li> <li>・自分たちも地域のために何かできることはないかという思いをもった。</li> </ul>
1	入山こども園	<p>情報収集</p> <p>こども園の先生たちに普段どのようなところにお散歩に行っているのかなどインタビューを行った。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の先生にインタビューを行ったことで、園児さんが満足する地図が作れると自信満々。</li> </ul>
4	由比北小学区	<p>学区探検を行い、園児さんが興味をもちそうなものや場所を探したり、神社などのスポットまでの時間を測ったりした。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児さんが歩く速度を考えたり、興味をもちそうな花や木の実、場所を探したり、目的地となりそうな場所までの時間を計ったりすることで、園児さんの気持ちを考えた。</li> </ul>
1		<p>園児さんたちと実際にお散歩に行き、園児さんの歩く速さや興味をもつものなどを理解した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に一緒にお散歩に行くことで、色々なものに興味を持ったり、すぐに立ち止まったりすることに気が付いた。</li> </ul>
2		<p>集めた情報をもとに、天神屋広報部部长北川様に絵の描き方、配置の仕方など、アドバイスをもらいながらこども園さん用のかわいいマップを作った。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道と川だけ書いてある模造紙にどんな風に絵を描いていったらよいか戸惑っていたが、川根本町のマップを作っている北川様からアドバイスをいただき、マップ作りが楽しくなってきた。</li> </ul>



5		集めた情報をもとに、「秋のお散歩コース」用のこども園さん用のマップを作った。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北川さまのアドバイスをもとにマップ完成。描きたいものを詰め込んだ自信あふれるマップができた。</li> </ul>
1   3   1	入山こども園	<p>こども園の先生にプレゼンを行った。安全面や距離など項目にわけてアドバイスをいただいた。</p> <p>アドバイスをもとに、1枚だったマップを春と秋の季節ごとのマップ2枚に作り直した。</p> <p>完成したお散歩マップを入山こども園さんにプレゼントした。</p>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の先生の視点からの評価。園児さんが見るとしたら1枚の地図にたくさんの季節が入っているのは…という意見を聞き、季節をわけるために春と秋のマップを作った。</li> <li>大変だったけど楽しそうに行った。</li> <li>「大変だったけど園児さんが喜んでくれたので、すごく報われた」という感想があり、達成感をもつことができた。</li> </ul>
1	教室	地域のことをもっと多くの人に知ってもらうために何ができるかを話し合い、地域のパンフレットを作ろうと決めた。		観光パンフレットの形をどのようにするのかを検討した。パンフレットの形が様々あることを知り、どの形のパンフレットが自分たちが伝えたいことを一番伝えられるのか、考えることができた。



<p>5</p>	<p>由比入山学区</p>	<p>こども園さん用のお散歩コースでは行かない、少し遠い場所の学区探検に行き調査を行った。 (銚子口の滝) (さくらのテラス)</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次はこの地域を訪れた人のためのマップだからと園児さんが歩いていけないところに学区探検へ。行ったことはあったけど、改めて行ってよさを実感し、マップに載せたいと思った。</li> <li>・今までは模造紙だったけど、Chromebookでマップを描くのは細かくて大変だと実感。</li> </ul>
<p>10</p>	<p>教室</p> <p>英君酒造</p>	<p>再度天神屋広報部部长北川様にお越しいただいた。 「外国の方の目線（ローマ字表記）」「初めて訪れる人の目線（方向を入れる）」「情報の鮮度」などアドバイスをいただいた。  パンフレットに掲載する英君酒造さんに許可をもらいにいった。  各観光施設等へパンフレットを置かせていただくためのアポ取りを行った。</p>	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの視点からアドバイスをいただき、自分たちでは完璧と思っていたことが、さらに良くなることにうれしさを感じた。</li> <li>・早く掲載する許可をいただき、地域の方々が自分たちの学校生活をよくしようと協力してくれていくことを改めて実感した。</li> <li>・電話でアポイントを取ることに緊張。練習したことと違うことを話されてドキドキ。でも乗り切って話ができたことで電話対応力が自信がついた。</li> </ul>



4

由比地区

各観光施設等へ実際にパンフレットを置きに行った。

- ・由比本陣
- ・さくらえび館
- ・由比生涯学習交流館
- ・農協
- ・由比駅
- ・興津駅



・タクシー、電車、バスを使って各施設へ。どの施設の方々も笑顔で受け取ってくれた。すぐにパンフレットコーナーに置いてくださった施設もあり、自分たちの作ったものが多くの人の目に触れることに大満足。



1

学校

集会の時間を使い、下級生に作ったパンフレットの説明を行った。



・「かがやき集会」にて6年生が学習した内容を他の学年に発表した。大変だったこと、楽しかったこと、力がついたことなどを伝えることができ、パンフレットを受け取った他の学年が楽しそうに眺めているのを見て、さらに達成感を得ることができた。

由比入山学区

入山こども園さん  
お別れ遠足



・プレゼントしたお散歩マップに実際に園児さんが行ったところの写真が貼られていて、活用されていることにうれしさを感じた。

### ③実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

- ・こども園の園児さんと多く関われる機会を作り、実態を知ること誰のために作るのかを意識するようになった。
- ・実際に企業でマップを書いている人をゲストティーチャーとして呼び出して、マップの作り方やマップを作る上で気を付けていることを直接聞ける機会を設けた。
- ・実際に景観を見に行ったり、インタビューをしたりするなど体験を多くすることで地域のすばらしさを感じられるようにした。
- ・完成したマップを各観光施設や、地域の方々が活用する施設に置きに行くことで、「自分たちが作ったマップ」が多くの人の目に触れる、すごいことをやりとげたんだという実感をもてるようにした。

#### (2) 実施にあたり苦勞した点

- ・園の先生にプレゼンしたあとにアドバイスをもらうときに、事前の打ち合わせで小学校側の意図がうまく伝わっておらず、子ども達で作った散歩コースのアドバイスではなく、マップのほうに重点を置いてアドバイスをいただいたので、再度作り直すときに子どもたちに意欲をもたせることに苦勞した。
- ・Chromebookでの作成だったが、業者への入稿がWordやpower pointだったため、データを変換することに苦勞した。

#### (3) 児童の反応

- ・こども園さんにマップを届けに行って帰ってきたときに「大変だったけど、喜んでくれたので今までの苦勞が報われた」という感想があった。今回の活動で相手のことを考えながら活動する大切さや喜んでくれると嬉しいという思いに気が付くことができた。
- ・観光マップが完成し、見本が完成したときも「できた」という達成感をもつことができた。嬉しかったのか、校内で出会う人たちに自慢している姿が見られた。
- ・かがやき集会で発表するために今回の活動を改めて振り返ったとき、最初はどんなことをしたらいいのかわからなくて大変だったけど、完成品も業者さんが作ったものだし、色々なところに置きに行けたし、「すごいことをしたな」という思いをもつことができた。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・こども園と密に関わることができたので、他の学年も園児さんと関わる機会が増えた。
- ・こども園のほうから一緒にハロウィンイベントをしないかなどのお誘いがあったり、校内でもクリスマスイベント、節分などこども園さんと交流するイベントを企画したりした。
- ・園のほうで、子どもたちが作ったお散歩マップを活用してくれていた。またお散歩マップを活用する中で、年少さんだけでは少し遠くて行けないけど6年生が一緒なら行ける場所までの遠足に一緒にどうですか、と園のほうからお声がけをいただき、お別れ遠足に一緒に行くことができた。

#### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容の関連づけから、留意すべき事項等〕

- ・外部の先生に評価をいただく場合は密な打ち合わせをしないと、教師が意図した流れにならない場合があるので、今後は密な打ち合わせを行い、子どもたちのモチベーションを保てるようにしたい。
- ・子どもたちには今回の活動は多くの方に関わっていただき、たくさんの協力があってこそできたことを実感し、これからも地域を愛し、地域社会の一員として地域と関わってほしい。
- ・実社会とつながる「本物の体験」をさせることで、達成感や満足感を得たり、「(実社会で通用するために) どうすればよいのか」と試行錯誤したりするようにしていきたい。